

授業科目名	病態生理学		単位数	2単位	時間数	31時間	
授業科目名英字	Pathophysiology		必修・選択	NP/CNS必修	受講対象年	1年次	
科目コード	9501052	授業の形式	講義、演習	講義室等	第6講義室		
開設学期等	前期 火曜日 13・14時限						
【担当教員名】	【職名/所属】	【研究室番号】	【電話番号】	【担当教員名】	【職名/所属】	【研究室番号】	【電話番号】
安藤秀明	教授/看護学講座	C112	6501	吉岡政人	教授/看護学講座	C104	6509
利緑	講師/看護学講座	C113	6522	高階淳子	助教/看護学講座	B102-2	6545
岡田恭司	教授/理学療法学講座	C304	6532	竹内直行	教授/理学療法学講座	B303	6531
煙山晶子	准教授/看護学講座	D305	6548				
授業の目的・到達目標							
<p>日常的によく見られる病態について学習し、原因・症状と経過・診断と治療の原則を系統的に教授する。より高度な看護実践に向け、エビデンスにもとづいた病態生理学的状態を判断できるように、事例を交えて教授する。</p> <p>(1) 人体の正常な機能や構造、およびその破綻や調節機能異常に基づく症状やメカニズムを理解し、患者の身体を統合的に把握するための基本的な知識を身につける。</p> <p>(2) 多様な臨床場面において重要な病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントし、必要な治療を理解してケアを導くための基本的な能力を身につける。</p>							
授業の概要と進行予定及び進め方							
<p>臨床解剖学、臨床病理学、臨床生理学を学ぶ</p> <p>(1) 臨床解剖学 (2) 臨床病理学 (3) 臨床生理学</p> <p>【事前学習】eLearningで基礎知識を習得する。eLearningでは、各コンテンツの終了時に、確認試験に合格すること。eLearningで知識領域を履修した後に、事例ベースの演習から実践を学ぶ。</p>							
成績評価の方法		教科書・参考書・参考文献等					
講義（放送授業）：e-ラーニングの受講/確認テスト、添削指導		教科書等	書籍名	著者	出版社		
演習（面接授業）：ペーパーシミュレーションによるディスカッション・レポート提出		学研メディカル	e-Learning				
試験（筆記試験）：科目修了試験の実施							
コメント		本授業科目は「実務経験のある教員による授業科目である」医療・保健活動に実務経験を有した教員（医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士）が、その実践経験を生かして実践的な教育を行う。					
授業展開		Web受講	授業内容				
第1回	○	【神経系】 脳神経 脳動脈、脳静脈と髄液					
【担当】安藤秀明、吉岡政人、利緑							
第2回	○	【循環器】 心臓の解剖 心筋の収縮 心臓の電気生理学					
【担当】安藤秀明、吉岡政人、利緑							
第3回	○	【呼吸器】 胸部の解剖 上気道、下気道、肺胞の組織構造～換気から拡散へ～ 呼吸器疾患のマクロ病理					
【担当】安藤秀明、吉岡政人、利緑							
第4回	○	【消化器】 消化器総論 口腔・咽頭と食道、胃・十二指腸 上部消化管・下部消化管の検査					
【担当】安藤秀明、吉岡政人、利緑							
第5回	○	【肝胆臓】 肝胆臓の解剖 肝胆臓の生理・生化学					
【担当】安藤秀明、吉岡政人、利緑							
第6回	○	【腎・泌尿器】 腎臓の解剖 腎臓の機能～内分泌機能を中心に～ 尿検査、腎生検～適応から病理まで～					
【担当】安藤秀明、吉岡政人、利緑							
第7回	○	【内分泌・代謝】 内分泌の解剖・生理学～甲状腺、副腎、視床下部-下垂体～					
【担当】安藤秀明、吉岡政人、利緑							
第8回	○	【免疫】 細胞性免疫不全 ～HIV感染症について医療者として知っておくべきこと～					
【担当】安藤秀明、吉岡政人、利緑							
第9回	○	【血液】 赤血球、白血球、血小板					
【担当】安藤秀明、吉岡政人、利緑							
第10回	○	【感覚器】 聴覚 眼科					
【担当】安藤秀明、吉岡政人、利緑							
第11回	○	【感染症】 病態微生物～ミクロの世界から考える感染症～ 真菌症、ウイルス感染症					
【担当】安藤秀明、吉岡政人、利緑							
第12回	○	【運動器】 神経筋疾患					
【担当】安藤秀明、吉岡政人、利緑							
第13回	○	【悪性腫瘍】 腫瘍の病理学					
【担当】安藤秀明、吉岡政人、利緑							
第14回	○	事例検討（演習） 血液ガス分析（症例検討）					
【担当】安藤秀明、吉岡政人、利緑							
第15回	○	総括・まとめ試験					
【担当】安藤秀明、吉岡政人、利緑							